

第66回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

平成26年4月25日(金)

沖 縄 総 合 事 務 局

第 6 6 回 沖縄地方交通審議会船員部会

日 時 平成 2 6 年 4 月 2 5 日（金） 1 4 時 0 0 分

場 所 沖縄総合事務局 1 F 「共用会議室」

出席者：

公益委員	儀部部会長代理、春田委員、上江洲委員
労働者委員	大崎委員、辻委員
使用者委員	大城委員、伊禮委員

沖縄総合事務局 宇崎船舶船員課長、玉城海事振興調整官
竹之内課長補佐、池原（労政担当）

議事次第

○開 会

○議 事

1. 第 6 5 回船員部会の議事録承認について
2. 管内の雇用状況等について
3. 平成 2 6 年度海事局船員関係予算について
4. 平成 2 5 年度最低賃金決定報告
5. 意見交換

○閉 会

（配付資料）

1. 第 6 5 回船員部会の議事録（案）
2. 船員職業紹介実績等一覧表（平成 2 6 年 3 月分）
3. 平成 2 6 年度予算総括表（海事関係）
4. 官報第 6 2 4 0 号

(議事概要)

事務局（池原）

定刻となりましたので、会議を始めさせていただきます。

本日は、公益委員 3 名、労働者委員 2 名、使用者委員 2 名が出席されており、船員部会運営規則第 9 条の規定による定足数を満たしており有効に成立してることを御報告いたします。

前回に予定されていた部会が流会となったことから、今回が第 6 6 回船員部会となっております。

4 月の人事異動で船舶船員課の職員に変更がございましたので、はじめに事務局を代表し宇崎船舶船員課長から挨拶をお願いします。

事務局（宇崎船舶船員課長）

～挨拶～

事務局（池原）

それでは、まず初めに、配付資料の確認をさせていただきます。

～配付資料確認～

本日は宮里部会長が都合により欠席となりましたので、あらかじめ指名されております儀部部会長代理に、議事運営をよろしくをお願いします。

儀部部会長代理

それでは、はじめに第 6 5 回船員部会の議事録の承認についてお諮りします。

お手元に配付されています議事録を御確認ください。第 6 5 回船員部会の議事録につきまして、原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

儀部部会長代理

異議なしということで、承認されたものといたします。

続きまして、議題 2 の「管内の雇用状況等」について、3 月分の説明をお願いします。

事務局（竹之内課長補佐）

管内雇用等状況の概要を説明させていただきます。

●求人状況について

新規求人数は 6 件でした。

前月は 7 件で 1 件の減少。前年同月は 8 件で 2 件減少となっています。

月間有効求人数は 2 4 件でした。前月は 1 7 件で 7 件増加。

前年同月は 1 5 件で 9 件増加となっております。

月間有効求人数 24 件の内訳としましては、商船等が 13 件、漁船が 11 件となっております。

月末未済求人数は 16 件でした。

●求職状況について

新規求職数は 9 名でした。前月は 15 名でしたので、6 名減少。

前年同月は、20 名で 11 名減少となっております。

新規求職数名の内訳としましては、商船等が 5 名、漁船 4 名となっております。

月間有効求職数は 31 名でした。

前月は 29 名でしたので、2 名増加。

前年同月は 44 名でしたので 13 名減少となっております。

月間有効求職数 31 名の内訳としましては、商船等 20 名、漁船 11 名となっております。

月末未済求職数は 10 名でした。

●成立状況について

3 月は、管内で 11 件の採用が決まりました。

成立状況としましては、近海の貨物船に甲板員として、40 代男性 1 名。

曳船に甲板員として、20 代男性 1 名、30 代男性が 1 名。

漁業調査船に甲板員として、40 代男性が 2 名、機関士として 50 代男性が 2 名、機関員として 20 代男性が 3 名、通信士として 60 代男性 1 名が採用されました。

●求人倍率について

3 月の月間有効求人倍率は 0.77 倍でした。前月は 0.59 倍でしたので 0.18 ポイント増加。

前年同月は 0.34 倍でしたので 0.43 ポイント増加となっております。

●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

3 月の新規求職者 9 名のうち、離職者 7 名の退職理由としましては、船舶所有者都合 1 名、事業閉鎖 1 名、自己都合 5 名となっており、離職者以外の方 2 名の求職理由としましては、新卒者 1 名、就業中で転職希望が 1 名となっております。

新規求職者が所属していた、会社所在地につきましては、管内が 8 名、管外が 1 名となっております。

●失業等給付支給内訳について

受給者実人員数は 3 名。支給延べ件数は 3 件で、基本手当支給金額は 51 万 5,060 円。

その他の支給はありませんでしたので総支給額は、51 万 5,060 円でした。

儀部部会長代理

ただいまの説明につきまして、何か質問等ございますでしょうか。

辻委員（労）

先月は、流会となり、この実績一覧表だけでは、先月の細かい内訳データが分かりませんので、2月の統計のデータを次回の部会で配付いただきたいと思います。

儀部部会長代理

事務局よろしいでしょうか。

事務局（竹之内補佐）

分かりました。

儀部部会長代理

議題2の資料に「平成25年度卒業生進路状況一覧表」がございますので、こちらについての説明をお願いします。

事務局（竹之内補佐）

「平成25年度卒業生進路状況一覧表」について御説明いたします。

●平成25年度卒業生進路状況について

沖縄水産高校には、本科と専攻科があります。本科は3年コースであり、そこを卒業した方が、専攻科に進めます。

表に記載してる入学者数は、平成24年3月の卒業生の入学時の入学者数となっています。本科である海洋技術科と総合学科には、併せて70名入学しており、卒業生は59名です。

専攻科につきましては、漁業科8名、機関科8名、無線通信科15名入学しており、卒業生は、漁業科10名、機関科10名、9月修了者各2名を含んでおります。無線通信科は15名となっております。

海上関係の就職先は、県内に14名、県外に24名となっております。

続きまして、宮古総合実業高校について御説明いたします。

海洋科学科には、31名が入学し、22名が卒業しております。

海上関係就職者は、2名で東亜運輸株式会社に採用となっております。

海上関係進学者は、沖縄水産高校の漁業科に3名、機関科に3名進学されました。

儀部部会長代理

この点について、何か御質問等ございますか。

大崎委員（労）

誤字がありますので、修正をお願いします。

上江洲委員（公）

先ほどの説明ですが、専攻科が31名入学し、35名卒業と、入学者より卒業者が増えているのはどういうことでしょうか。

事務局（竹之内補佐）

平成25年度の卒業者数35名の中には、一学年上の9月修了者2名が含まれています。
9月修了者は、25年度の卒業者数にカウントされますので、総数がその分増えております。

上江洲委員（公）

卒業者数は、3月卒業者だけではなく、前年の9月に卒業した者も含めた数が、その年度に卒業した人数なんですね。

事務局（竹之内補佐）

そうです。

大崎委員（労）

就職率は、すごいですね。

春田委員（公）

沖縄だけでなく、全国にも就職するのですね。

辻委員（労）

船員教育機関自体は定員数がどんどん少なくなっています。

今年は、我々の活動もあって、定員数が増えたというところもありますが、やはり供給ソースが少なければ、当然、みんながそこに殺到します。

本土は今まで沖縄の方へは獲得に動いていませんでしたが、やはり本土だけでは足りないということになれば、当然沖縄の方にも獲得に出てきています。

今まで海員学校等の教育機関から採用していたのが、水産高校にまでも広がったため、県内の学校まで本土からの採用が伸びてきています。

儀部部会長代理

ほかに、ございますか。

質問等については、無いようですので、議題3の「平成26年度海事局船員関係予算について」に移りたいと思います。事務局から説明をお願いいたします。

事務局（池原）

●平成26年度海事局船員関係予算について

～資料説明～

儀部部会長代理

今の説明について、何か御質問、御意見等ございますでしょうか。

辻委員（労）

船員不足ということで、予算の中に「船員の確保、人材育成」が盛り込まれていますが、具体的にどういうことに使っているのですか。

また、平成25年度から予算額が下がっているようですが、船員教育育成のウエイトが下がったということでしょうか。

事務局（池原）

予算額が下がった具体的な理由は把握しておりません。

「船員確保・人材育成」の内容としては、船員計画雇用促進等事業の補助ということで、管内の3事業者に、船員の雇用に対する補助金の交付を実施しております。

そのほかの内容としては、外航基幹職員養成事業や技能訓練事業がございます。

伊禮委員（使）

船員育成の話がありましたが、まぐろ協会では、財団からの補助を受け「無線の4級」、「機関の6級」の講習を実施しています。この雇用促進事業の予算は、訓練や試験の講習にも使えるんですか。

事務局（池原）

講習機関への受講にも使えるかということですか。

伊禮委員（使）

まぐろ協会では、財団に予算要求をし、予算が決まった時点で、募集をかけて、その講習にかかる費用を財団の補助金でまかなっています。人材育成事業ということであれば、そのような講習の受講費の補助としても使えれば助かります。

事務局（池原）

講習では、E C D I Sシミュレーター訓練等の内容は入っておりますが、上級免許の取得ということは、この事業では聞いておりません。

伊禮委員（使）

それでは、育成にも何にもならんのでは。

春田委員（公）

補助金の使い勝手の話で、どの部分のどのようなメニューがあるかっていうことをお知りになりたいんですよ。

そこを事業者の方にお教えすることができますか。口頭よりも、紙媒体でやったほうが丁寧だと思います。

伊禮委員（使）

今まで協会は、「無線の4級」と「機関の6級」の講習を実施し、なるべく皆が免許を取れるようにしている。

今年も7月頃に計画しているが、その予算が使えるなら財団からではなくそちらを検討したい。

春田委員（公）

この予算は、一部の講習機関のみを対象とするのか、それとも沖縄などの地方の団体が行う講習にも使用できるのかということを調べていただきたい。

儀部部会長代理

事務局よろしいでしょうか。

事務局（池原）

分かりました。

儀部部会長代理

他にございますか。

無いようであれば、議題４の「平成２５年度最低賃金決定報告」を事務局からお願いします。

事務局（池原）

●平成２５年度最低賃金決定報告について

～資料説明～

全国における最低賃金の改正状況は以上のとおりですが、これを踏まえまして、当局としては、状況を見きわめつつ、的確に判断していきたいと思っております。

儀部部会長代理

ただいまの御説明につきまして、何か質問等ございますでしょうか。

大崎委員（労）

その的確にというのは、どういうことですか。

事務局（池原）

管内の経済状況などのデータ収集に当たり、諮問が必要か検討するということです。

大崎委員（労）

それは諮問するという意味ですか。

事務局（池原）

状況を見きわめつつ判断したいと思います。

儀部部会長代理

県内の情報を収集される予定があるということですか。

事務局（池原）

データは、毎年取っています。

春田委員（公）

確か諮問は6月か7月ぐらいでしたね。

大崎委員（労）

タイムラグや沖縄の地域事情を踏まえ諮問するかしないかは、いつごろ決まるんですか。

事務局（宇崎課長）

他局の動きや県内の状況を調べた上で判断したいと思います。

儀部部会長代理

地域最賃が動くぐらいのときには、もう出た気がします。

何か、動きがありましたら、報告いただくということでお願いします。

議題5の意見交換に移りたいと思います。何かございますでしょうか。

大崎委員（労）

沖縄水産高校の学科改編の問題につきまして、進展がありました。

学科改編については、基本的に校長先生がリーダーシップをとられておりましたが、それを推進していた校長先生がこの春に異動になり、私どもも一応、一安心しておりますけれども、この学科改編計画が完全になくなったわけではありません。

先日、県議会の文教厚生委員会から参考人招致がございまして、それに関する意見を求められております。

改編計画自体は頓挫したわけではないので、今後も注視する必要があります。

春田委員（公）

意見を聞くということは、それだけ関心があるということですね。

儀部部会長代理

他にございますか。

辻委員（労）

この4月1日からのECDISに関する法律改正を受けて、限定解除に関する通達が出ておりますが、内容が分かりずらくっております。

このECDISは、航海計器の中で今後、重要になってくるんじゃないかなと思うのですが、解除要件について、わかりやすい資料があれば、ぜひ教えていただきたいと思います。

大崎委員（労）

資料を作っていただいて、来月に紙で見せていただかないと、公益委員の皆さんは、分からないと思います。

組合員にも教えやすい、分かりやすい資料を作成していただいて、次回船員部会での提供をお願いします。

儀部部会長代理

事務局よろしいでしょうか。

事務局（池原）

分かりました。

儀部部会長代理

他にございますか。

無いようであれば、事務局から連絡事項があるようですのでお願いします。

事務局（池原）

次回部会は、5月23日（金）14時より5階海技試験室で開催します。

儀部部会長代理

それでは、本日の部会はこれで終了します。